



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエスフード株式会社

コード番号 3358 URL <http://www.vs-food.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 緒方 正憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 岩下 征吾

TEL 0947-32-7382

四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	450	△2.2	△11	—	△36	—	△46	—
27年3月期第1四半期	460	△3.6	△17	—	△17	—	△38	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 5百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △40百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
28年3月期第1四半期	△11.92		—	
27年3月期第1四半期	△10.72		—	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
28年3月期第1四半期	4,390		1,978		45.1	
27年3月期	4,377		1,993		45.5	

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 1,978百万円 27年3月期 1,993百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	5.00
28年3月期	—					
28年3月期(予想)		0.00	—	5.00	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,930	1.5	38	76.0	28	128.6	19	—	5.11

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	3,873,000 株	27年3月期	3,873,000 株
28年3月期1Q	— 株	27年3月期	— 株
28年3月期1Q	3,873,000 株	27年3月期1Q	3,585,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策の推進により、円安・株高傾向が続き、国内景気は回復基調をもって推移しておりますが、消費税率引き上げ後の個人消費動向に弱さがみられ、さらに、外食産業におきましても、人手不足を起因とした人件費関連のコストの増加は年々厳しさを増すことに加え、異業種との競争等、依然として厳しい状況が続き、不透明感が残る状況となっております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、上記で述べたように、外食産業をとりまく厳しい経営環境を乗り越えるため、「企業価値の向上」及び「企業体質の強化・改革」を最重要課題とし、役員のみならず従業員一人ひとりが「経営者意識」、「当事者意識」を持ち、現状に甘んじることなく常に変革を意識し行動を行うことで、「Reactive (受動的)」思考から「Proactive (能動的)」思考へ意識改革を図ってまいりました。

また、海外事業におきましては、「平成30年3月期 海外100店舗」を目標に掲げ、5月16日～18日には、中国北京市で開催のフランチャイズショー『CHINA FRANCHISE EXPO BEIJING』に新ブランド『遣唐拉麺』の出展を行う等、引き続きアジア圏を中心に海外での店舗展開を進め、食材出荷量の増加及び新ブランドの設立による収入源の獲得に注力してまいりました。

しかしながら、本日公表しました「貸倒引当金繰入額(営業外費用)の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、一部の海外加盟オーナー様に対する経常運転資金の貸付金について、回収に懸念が生じたことから、当第1四半期連結累計期間において、貸倒引当金繰入額23百万円を、営業外費用に計上いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は450百万円(前年同期比2.2%減)となり、利益面におきましては、営業損失11百万円(前年同四半期は営業損失17百万円)、貸倒引当金繰入額23百万円の計上等により経常損失36百万円(前年同四半期は経常損失17百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失46百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失38百万円)となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (外食事業)

当第1四半期連結累計期間における外食事業におきましては、新規顧客獲得と既存顧客のリピート率向上を図るため全国誌等を媒体とした「餃子150円キャンペーン」及び「懸賞旅行キャンペーン」等をはじめとする各種セールを実施するとともに、QSCの徹底を積極的に行い「美味しさと快適な食の空間」に取り組む事により、店舗体質の改善に努めてまいりました。

今後は、「九州筑豊ラーメン」創業45周年を記念し、地元ラジオ局とのタイアップ企画による新メニューの導入を進め、「山小屋」「ばさらか」「一康流」のブランディング向上及び店舗売上高の増加に努めてまいります。

一方、海外事業におきましては、中国北京市で開催のフランチャイズショー『CHINA FRANCHISE EXPO BEIJING』に新ブランド『遣唐拉麺』の出展を行い、3日間で180件以上の面談に加え、ネットテレビ等の取材を受け、また、平成27年5月には中国蘇州において「廣竜軒 イオンモール夢楽城店」をオープンする等、引き続き海外での店舗展開を進めております。今後も、食材出荷量の増加及び新ブランドの設立等による新たな収入源の獲得はもちろん、未開拓地域への積極的な出店について注力してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は412百万円(同3.6%減)となり、利益面につきましては、営業利益11百万円(同76.4%増)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の店舗状況は、海外の新規出店が1店舗、店舗の閉鎖が5店舗(F C店3店舗、海外2店舗)あり、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、前連結会計年度末に比べ4店舗減少して158店舗(直営店8店舗、F C店109店舗、海外41店舗)となりました。

#### (不動産賃貸事業)

当社が所有する店舗用地等の有効活用を目的とした賃貸事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は15百万円(同17.4%増)となり、営業利益7百万円(同18.2%増)となりました。

#### (外販事業)

平成27年4月1日付で、当社の100%子会社であった「ふくおか製麺株式会社」を消滅会社とする吸収合併を行っており、当社における外部販売事業の強化を図るべく、「外販部」を営業本部の傘下に置き、当社の生産する製品を主要販売品目とし、外販を行っております。

連結子会社大幸食品(株)が、お客様及び当社にすりごまの製造販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間における外販事業の売上高は19百万円(同22.5%増)となり、営業損失15百万円(前年同四半期は営業損失14百万円)となりました。

なお、外販事業におきましては、外食事業における顧客ターゲットとの差別化を図り、プライベートブランドの充実化及び商材の拡大に加え、効果的な広告宣伝の投入等で、新たな収益源の獲得に努めてまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,218百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主に、その他のうち前払費用が22百万円増加したものの、売掛金が21百万円及び現金及び預金が12百万円減少したこと等によるものであります。また、固定資産は3,171百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産が22百万円減少したものの、投資有価証券が72百万円及び貸倒引当金が△23百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,390百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円の増加となりました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が19百万円及びその他のうち未払金が5百万円増加したものの、買掛金が13百万円及びその他のうち未払消費税等が16百万円並びに賞与引当金が11百万円減少したこと等によるものであります。また、固定負債は1,394百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が47百万円純増したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,411百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円の増加となりました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,978百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少いたしました。これは主に、配当金の支払が19百万円及び四半期純損失が46百万円があったものの、その他有価証券評価差額金51百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は45.1%（前連結会計年度末は45.5%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において平成27年5月14日に公表致しました連結業績予想の変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	879,334	866,675
売掛金	156,905	135,896
商品及び製品	123,610	124,187
仕掛品	4,844	5,923
原材料及び貯蔵品	16,557	17,751
その他	51,860	70,645
貸倒引当金	△1,623	△2,286
流動資産合計	1,231,488	1,218,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,087,164	1,068,044
機械装置及び運搬具(純額)	51,301	53,741
土地	1,602,647	1,602,647
その他(純額)	17,515	17,799
有形固定資産合計	2,758,629	2,742,232
無形固定資産		
その他	10,627	10,895
無形固定資産合計	10,627	10,895
投資その他の資産		
投資有価証券	104,003	176,467
繰延税金資産	32,112	9,890
敷金及び保証金	116,120	114,722
その他	142,166	158,170
貸倒引当金	△18,050	△41,106
投資その他の資産合計	376,352	418,144
固定資産合計	3,145,609	3,171,273
資産合計	4,377,098	4,390,066

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	87,749	74,666
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	493,591	513,575
未払法人税等	5,153	4,055
賞与引当金	25,357	13,596
ポイント引当金	1,221	978
資産除去債務	739	3,634
その他	221,274	206,609
流動負債合計	1,035,087	1,017,116
固定負債		
長期借入金	1,065,346	1,113,166
役員退職慰労引当金	51,354	51,765
退職給付に係る負債	65,643	64,129
資産除去債務	48,169	47,478
その他	118,449	117,654
固定負債合計	1,348,962	1,394,193
負債合計	2,384,050	2,411,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,050	1,002,050
資本剰余金	831,588	831,588
利益剰余金	154,513	88,949
株主資本合計	1,988,152	1,922,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,632	57,085
退職給付に係る調整累計額	△737	△917
その他の包括利益累計額合計	4,895	56,168
純資産合計	1,993,047	1,978,757
負債純資産合計	4,377,098	4,390,066

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	460,589	450,570
売上原価	210,652	222,568
売上総利益	249,936	228,001
販売費及び一般管理費	267,331	239,699
営業損失(△)	△17,395	△11,697
営業外収益		
受取利息	1,219	1,374
受取配当金	49	53
協賛金収入	523	479
違約金収入	1,825	876
その他	829	1,094
営業外収益合計	4,446	3,878
営業外費用		
支払利息	3,864	4,252
貸倒引当金繰入額	140	23,574
その他	975	677
営業外費用合計	4,980	28,503
経常損失(△)	△17,929	△36,322
特別利益		
固定資産売却益	—	50
特別利益合計	—	50
特別損失		
固定資産除却損	—	2,275
特別損失合計	—	2,275
税金等調整前四半期純損失(△)	△17,929	△38,548
法人税、住民税及び事業税	2,548	2,090
法人税等調整額	17,978	5,559
法人税等合計	20,527	7,650
四半期純損失(△)	△38,457	△46,198
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△38,457	△46,198



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△38,457	△46,198
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,565	51,453
退職給付に係る調整額	△201	△179
その他の包括利益合計	△1,766	51,273
四半期包括利益	△40,223	5,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40,223	5,074
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	不動産 賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	428,019	13,401	16,291	457,712	2,877	460,589	—	460,589
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,726	39	700	3,466	—	3,466	△3,466	—
計	430,746	13,440	16,991	461,178	2,877	464,055	△3,466	460,589
セグメント利益 又は損失（△）	6,722	5,990	△14,801	△2,088	348	△1,740	△15,655	△17,395

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△15,655千円には、セグメント間取引消去157千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△15,812千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失（△）と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	外食事業	不動産 賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	412,609	15,734	19,960	448,304	2,266	450,570	—	450,570
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	699	699	—	699	△699	—
計	412,609	15,734	20,659	449,004	2,266	451,270	△699	450,570
セグメント利益 又は損失(△)	11,857	7,081	△15,835	3,103	180	3,284	△14,981	△11,697

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△14,981千円には、セグメント間取引消去133千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△15,114千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。